

住化・住武相談室だより

第2号 2月10日

発行 住友化学・住化武田農薬

お客様相談室 0120-677-088

発行責任者 古津 昇

発刊にあたりご挨拶

住友化学株式会社
執行役員 アグロ事業部長
岡本 敬彦



現在、日本人の食生活は「飽食の時代」と言われるようになり、食料の安定供給から安全・安心へと消費者の要求が変化してまいりました。しかし、日本の食料自給率は平成15年度の統計で供給熱量換算ベース40%に留まり、先進国の中では最低の数字となっております。更に、内閣府の世論調査によると食料の60%を外国からの輸入に頼っている現状に78.4%の人が不安を感じているとの集計結果があります。今後、世界の総人口の増加による食料需要の大幅増や、資源の枯渇や環境問題などから、中長期的には世界の食料需給に不安があり、輸入に依存する体質から脱却する必要があると考えます。

このような状況のなかで、住友化学・住化武田農薬を中心とした、住友化学アグログループは日本の農業の衰退を食い止め、また、支えるために、グループ各社の持つ特徴ある製品・技術やサービスを提供できる、時代のニーズに対応した企業体となるべく鋭意努力している最中でございます。

また、安全・安心を求める一般消費者の要望を満たすとともに、環境対応を行う植物問題総合解決型企業を目指し、広く事業展開を図っていきたく考えています。

さて、紙面をお借りしまして、我々住友化学アグログループを簡単に紹介させていただきます。当グループは、肥料・農薬を取り扱います住友化学のアグロ事業部門と住化武田農薬の他に家庭園芸薬品を製造販売している住化タケダ園芸とレインボー薬



品、野菜のコート種子、トルコギキョウの苗や農業用灌水システムを手がけている住化農業資材、ゴルフ場や鉄道・森林など非農耕地の植物防疫に関わる事業展開をしている日本グリーンアンドガーデン、IPM・ICM等の環境保全型農業を支援する日本エコアグロからなっております。

グループの力を結集し、農家さんや家庭園芸を楽しまれる皆様をはじめ、植物に関わる全ての方々のお役に立てるよう日々、精進して参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

マイナー作物問題と経過措置

マイナー作物とは、全国での生産量が3万t以下の作物です。地域の特産品として売られているウドやラッキョウおよび、タラの芽などの山菜や、ズッキーニ、カリン、ザクロ等と300種近くあります。

水稲やキャベツ・りんごなどの主要作物と同様に病害虫は発生し、その防除のために農薬が必要です。しかし、マイナー作物に使用出来る適用登録農薬が少なく農家さんは大変困っています。

さて、ここで適用作物への農薬登録取得方法について若干説明しますと、まず各地の試験場で農薬の作物適用性試験(効力・薬害・作物残留分析)を実施し、それらのデータをもとに効果および安全性などを国が審査しパスしたものが登録認可されます。費用は、作物残留性試験一作物当たり数百万円の経費がかかります。また、試験期間は最低1年から2年です。

ところで、平成14年夏以降、無登録農薬の販売・使用に係わる一連の事件を契機に、平成15年3月に改正農薬取締法が施行されました。内容は、登録違反した農薬使用者に対して、罰則が適用されるようになり、無登録農薬はもちろんのこと登録農薬であっても使用基準(適用作物・使用方法)を守る義務が科せられました。

従って、登録農薬の少ないマイナー作物は、このままでは病害虫の被害で生産量が激減してしまう恐れが出てきました。そこで、農水省はマイナー作物に経過措置対応(2年間)をとることになりました。上述した一連の試験を実施して登録を取得するまでの期間は、使用を認める措置です。各都道府県がそれぞれ、農薬と農作物の組合せを農水省に申請し、農家さんは自分の住

む都道府県が申請した組合せのみ、使用出来るようにしました。その期間に都道府県は、JAや企業および研究機関、他県とも協力して試験データ揃えていくことになりました。その経過措置対応の組合せは約9000件にものぼります。



ズッキーニ(撮影:青木)

だが、この3月に早くも経過措置対応期限が迫ってきました。そこで経過措置としてあげたものの、諸般の事由で今後試験を実施しないものについては、経過措置対応から削除することになりました。その削除する農薬名について2月末までに公表される予定です。

以上のような状況で経過措置は、推移していますが、例年通りクワイが「おせち料理」の食材として途切れることがないようにしたいものです。 F N

違反した場合は3年以下の懲役または(および)100万円以下の罰金

主要作物(60作物): 水稲、陸稲、大麦、小麦、とうもろこし、未成熟とうもろこし、こんにゃく、さといも、ばれいしょ、かんしょ、やまのいも、あずき、だいず、さやいんげん、えだまめ、ほうれんそう、こまつな、チンゲンサイ、カリフラワー、キャベツ、はくさい、ブロッコリー、レタス、しゅんぎく、セルリー、たまねぎ、にら、ねぎ、ピーマン、トマト、ミニトマト、なす、かぼちゃ、きゅうり、メロン、すいか、いちご、だいこん、かぶ、ごぼう、しょうが、にんじん、れんこん、たけのこ、かき、うめ、もも、西洋なし、日本なし、りんご、ぶどう、キウイフルーツ、なつみかん、はっさく、ぼんかん、みかん、伊予柑、てんさい、さとうきび、茶。

(主要作物以外マイナー作物)

雑草よもやま話 (2)

水田の草取りを経験された方はご存知ですが、極めて苛酷な労働です。今から約50年程前までは、人力によってすべての水田で草取りが行われてきました。除草剤が全く使われていなかった1949年(昭和24年)に、水田の除草のための労働時間はハクトルイ(ha)当り506時間でした。

それが除草剤の普及に伴い短縮し、1997年(平成9年)の労働時間は僅か20時間になっています。この除草剤による経済効果を松中先生(元神戸大学)の試算結果で見ると、(＊)1949年(除草剤なし)の労働時間506時間/ha……A

1997年(除草剤利用)の労働時間20時間/ha……B

1997年の草取り労賃960円/時間……C

人力除草で余分に掛かるお金 $C \times (A - B)$
= 46.7万円/ha……D

除草剤代金3万円/ha……E

その差(除草剤の経済効果) $D - E = 43.7$ 万円/ha……F

日本全体での経済効果 $F \times 1997$ 年の作付面積(195万ha) = 8,522億円

要約すると、ha当り換算で43.7万円となり、日本全体での経済効果は8,522億円と非常に大きな金額となります。

では、この金額を誰かが負担頂ければ除草はすべて人力でできるのでしょうか。1日8時間労働として、1haの水田を除草するのに約63人が必要で、2004年の作付けが



ホタルイ(撮影青木)

日本全体で約170万haですので、1億710万人が必要となります。草取りの期間を60日に分散させても1日当り約178万人が草取りに従事しなければならず、他産業の活動を停止させない限り不可能です。言い換えれば、除草剤はこれだけ多くの労働力を農業から他産業へ移行させ、日本の経済発展に非常に貢献したとも言えるでしょう。

除草剤を使用しない除草手段としてアイガモ、紙マルチ、米ぬか等が検討されていますが、除草剤並みの効果、利便性、経済性があるとはいえません。除草剤を使用しないイネ栽培は現実的ではなく、農薬登録に定められた使用方法に従って正しく使い、消費者に「安心」していただくことが大切です。 I K

今月の相談内容から一つ

ご質問内容

デラウスプリンス粒剤の床土混和・覆土混和について教えてください。

回答内容

デラウスプリンス粒剤の育苗箱への処理方法は、は種前から移植直前まで使用できます。播種前処理では、育苗箱用床土(土壌約5リッター)に1箱当り50gを均一

に混和します。この方法は、忙しい農繁期を避け、冬場の農閑期での作業ができます。覆土混和处理は育苗箱1箱当りの覆土に50gを均一に混和します。床土に比べて土の量が少なくてすみます。次に、播種時処理は自動播種機と施薬機をセットにして散布する方法で大変省力的方法です。更に育苗期間中や移植当日までのあらゆる育苗時

期で散布可能なため作業形態を考慮して幅広い処理時期が選択できます。

また、本剤はいもち病とイネドロオウムシ・イネミズゾウムシ・ニカメイチュウ・

ウンカ類・イナゴ類が同時に防除出来て効果面も含めて大変省力的な薬剤です。

T N

知って得する防除の仕方

展着剤の使い方

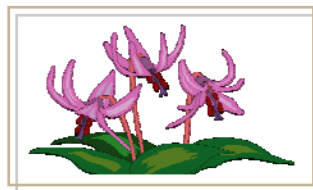
薬液を調整するとき展着剤を最後に入れて仕上げることは有りませんか？展着剤は薬液が作物の表面に広がる効果（展）の有するものと、雨等で流れないように（着）の効果の有するものがあります。展着剤を薬液に調製する時に、初めに加えて攪拌すると後から入れた水和剤やフロアブル剤の溶けや拡散がよくなります。よって、展着剤は初めに入れましょう。

さて、農薬は単用で使用することが望ましいのですが、病害虫が同時に発生する場合は混用することが多くあります。乳剤と水和剤やフロアブルを混和するときは、初

めに乳剤を溶かしてから水和剤やフロアブル剤を加えて調製してください。この場合、乳剤が展着剂的な役割をします。

次に薬液を調製する時に少量の水に水和剤やフロアブルや乳剤を同時に加えて練ってから希釈することは物理化学的に好ましくないので避けてください。農薬の混用は単用でも作物の種類、品種、生育ステージ、気象、栽培条件等により薬害を生じることがありますので十分注意してご使用ください。

T N



今月の推進農薬

種籾消毒剤

スポルタックスターナSE

大寒を過ぎたばかりですが、そろそろ作付け計画を検討する時期が近づいて来ました。

種籾は「いもち病菌」以外に糸状菌の「ばか苗病菌」「ごま葉枯病菌」や細菌病の「もみ枯細菌病」「苗立枯細菌病」に汚染されていますので必要に応じて消毒が必要です。種子消毒剤では糸状菌に対し「スポルタック乳剤」「ベンレート水和剤」「テクリード水和剤」「ヘルシード水和剤」等が有効です。細菌病に対しては「スターナ水和剤」があります。

これらの病害に同時防除を期待するには、両方の病害



に有効な成分を有する「スポルタックスターナSE」があります。本剤は、糸状菌の**ばか苗病・いもち病・ごま葉枯病**と細菌病の**もみ枯細菌病・褐条病・苗立枯細菌病**に登録を有します。処理方法は浸種前に200倍による低濃度液長時間浸漬と20倍液の10分間浸漬法及び7.5倍液の吹付け処理（種子消毒機使用）と塗沫処理ができます。本剤は粘度の低い液状タイプで取り扱い

いが簡単です。主な溶剤に水を用いているので安全性が高く、有効成分がイネ苗に安全性が高いなどの優れた特長があります。

また、シンガレセンチュウの同時防除はスミチオン乳剤かパダン SG 水溶剤があります。

昔から、苗半作と言われていました。皆様、種子消毒含め苗作りには万全を期したいですね。 T N

新農薬紹介

ダントツ水溶剤

今月はダントツ剤をご紹介します。ダントツ剤は武田薬品工業（現在の住化武田農薬）が研究開発したネオニコチノイド系の新規化合物クロチアニジンを有効成分とする新しい殺虫剤です。人畜、魚介類に対する影響が少なく、幅広い害虫に対して、低薬量で高い殺虫活性を示します。アブラムシ・コナジラミ・ウンカ・ヨコバイ・カメムシ類などの「半翅目」、ミナミキイロアザミウマ・ネギアザミウマなどの「アザミウマ目」、マメハグリバエ・トマトハモグリバエなどの「双翅目」、コガネムシ・ゾウムシなどの「甲虫目」、ハモグリガ・シンクイムシ・ニカメチュウなどの「鱗翅目」、イナゴなどの「直翅目」に優れた防除効果を示します。

また、浸透移行性、効果の持続性に優れ、散布、土壌処理、育苗箱施用、空中散布等と様々な使い方が可能です。ダントツ水溶剤（稲・野菜・果樹・茶・花）ダントツ粒剤（稲・野菜・花）ダントツ粉剤DL（稲）ダントツ箱粒剤（稲）また昨年からの稲のカメムシ防除用にダントツH粉剤DL（高含

量化剤）とダントツフロアブル（空中散布）が追加され、混合剤も含めると現在14種類のダントツ製品がありますので、作物や用途に合せた製剤を選択することが可能です。



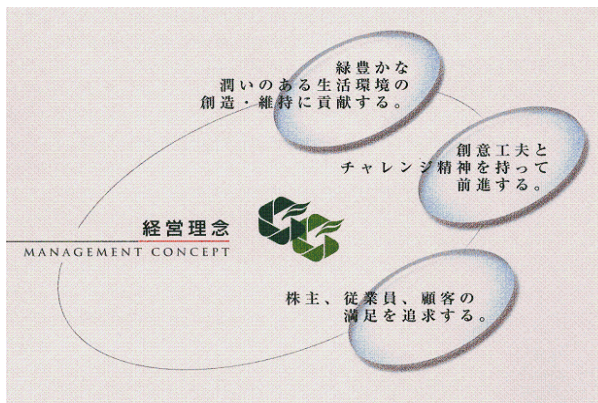
ところで、「ダントツ」の意味をご存知ですか？辞書などで調べると断然トップの略等とありますが、この商品名には我々の製品に対する自信とNO.1 殺虫剤に育てたいという強い想いが詰っています。また、ダントツ剤の包装デザイン等に使っているイメージキャラクター（名前：ダンキング）は、農作物を害虫から守るための「力強さ」と皆様に可愛がっていただけるような「かわいらしさ」を表現し

たキャラクターです。

今年の4月にダントツ剤は発売3周年を迎えます。これまでダントツ剤をご存知なかった方も、今年は是非お試しください。本剤の優れた効果を実感いただけたら幸いです。 M H

住友化学アグログループ会社紹介

株式会社日本グリーンアンドガーデン



株式会社日本グリーンアンドガーデンは、平成13年10月に、ゴルフ場、家庭園芸、林地および緑地管理分野への農薬、肥料、資材の開発、製造、販売会社として、“緑豊かな潤いのある生活環境の創造と維持”に貢献することを目標に創立されました。

その後、平成15年4月1日には、保土谷アグロス株式会社と合併・統合により家庭園芸用除草剤、鉄道・林地用除草剤などの事業強化を実現するとともに、平成15年6月1日には、鉄研工業株式会社よりゴルフ場関連資材にかかわる営業権の譲渡、平成16年4月1日には、海和緑化株式会社と合併・統合し、飛躍的な製品ラインアップの充実と、商品開発から製造販売及び請負防除まで一貫した体制の強化が実現致しました。

弊社の代表的な製品としては、身近なところではホームセンターを中心に販売されているレインボー薬品のネコソギエースAや住化タケダ園芸の草退治などの家庭園芸分野における代表的な除草剤を初め、食品素材であるデンプンを利用した園芸用でんぷんスプレーやテンネムシトールなどの環境面にも考慮した製品を揃えております。



また、緑化分野でも、ゴルフ場向けのフルスイングやグランサーなどに代表される殺虫剤や殺菌剤を初め、林地向けの鹿忌避剤、水質改善剤、融雪剤など広範囲の製品を揃え、皆様の生活環境の改善に貢献すべく努めております。

今後とも、創業の精神であります“創意工夫の心とチャレンジ精神”をモットーに、生活環境の緑を守り、緑を育てるとの視点から、より優れた製品の開発・販売に努めてまいります。



農薬の成分と剤型 はこうなっている！

農薬の中身ってちょっと気になります。どんな成分になっているんでしょう？・・・製品の表示ラベルを見れば全ての成分が分かりそうですね・・・。

ご質問

また、同じ名前の農薬でも乳剤とか水和剤とか、色々と種類があるみたいですがどう違うの？

使い方も、それぞれあるのでしょうか。教えてください。

農薬の中身は、虫や病気等に効く成分と、その成分を安定させる増量剤のようなもので出来ています。

農薬の成分は非常に少ない量で効果を現します。その成分を植物の葉などに均一に付着させるために、増量剤と組み合わせ、色々な剤型のものにして、商品にしているのです。

農薬の種類は、以下のようなものがあります。

A) 水で薄めて使用するもの(商品が液状のもの)

- 1) **液剤**：水に農薬の成分を溶かしたものの。水で薄めると透明の液体になります。
- 2) **乳剤**：水に溶けない成分を乳化剤で溶かしたものの。水で薄めると水中に均一に分散した白濁液となります。

お答え

3) **フロアブル**：水に溶けない成分を微粉砕して水等の液体に浮遊させたものの。水で薄めると白色の液体になります。

B) 商品が粉状のもの(商品が粉状のもの)

1) **水溶剤**：水に溶ける成分を水溶性の粉と均一に混ぜたものの。水で薄めるときれいに溶けて透明の液体になります。

2) **水和剤**：水に溶けない成分を粉と均一に混ぜたものの。水に溶いて攪拌すると均一に分散し、白色の液体になります。

C) そのまま使用するもの

粉剤、**粒剤**、一部のフロアブルなどがあります。これらは、用途に応じて粉・粒・液状など選べるようになっています。

S H ・ I T

病害虫発生情報



1月に各県から出された病害虫注意報・特殊報から、主要なものをお知らせします。

きゅうり **黄化えそ病**：佐賀県、熊本県
黄化病：熊本県

主に黄化えそ病はアザミウマ類により、

黄化病はコナジラミ類により媒介されるウイルス病です。これらの害虫をアグロスリン、ダントツ、ベストガードなどにより防

除することが重要です。

きゃべつ、あぶらな科野菜 ケブカノメイ
ガ：愛知、静岡

東南アジアなどに分布する熱帯～亜熱帯産の害虫で、日本では沖縄県であぶらな科野菜の害虫となっている。幼虫は集団で食害し、発生株の被害は大きい。葉は太い葉脈や中肋のみを残して食害する。登録農薬は現時点ではない。発生は局所的であるので、発生株を抜き取り処分することが必要。

ピーマン 黒枯病（仮称）：鹿児島県

茎葉と果実に斑点性の障害がでる。今のところ登録農薬はない。かびによる病害であるので、ピーマンのかび病害に登録のある薬剤の中に効果のあるものがある可能性はあるが、今後の試験を待つ必要がある。

いちご ハダニ類：長崎県

下葉の裏に多く分布するので、薬液が十分にかかるように不要な下葉を除き、丁寧に薬剤散布することが必要です。

防除薬剤は、オサダン、ロディーの他、くん煙剤のスカイマイト、ロディーがあります。 I T

コラム・そば談義

そば打ちは、水回し・こね・延ばしが出来てはじめて一人前の職人といわれています。

その中でも、特に水回しが最も神経を使います。理由は水が多いと「こし」のないそばになり、不足すると繋がらないボソボソのそばになります。そこで、慌てて水を足しても後の祭りで、満足のいくそばにはなりません。この工程が難しいのは産地によってそば粉の組成や水分量が微妙に異なり、かつその日の天候（気温や湿度）にも左右されるからです。そば打ち職人は、それらのことを掌に感じ水と粉が自然と馴染み「ピタッ」とくるまで手を添えるだけと

云います。

ところで、相談室担当として日頃感じることは、その日の体調によって対応の仕方が微妙に違うことです。例えば、酒が美味しく二日酔いになった時や、個人的に気分が乗らない時は、お客様に通り一遍の回答に終始する場合があります。いつも、お客様の立場に立って痒いところに手が届くような対応が出来なければと思います。

そこで、一念発起し、せめてこの業務に従事している間は、心身ともに健康に心掛け、お客様の心に「ピタッ」とくるような対応が出来るよう精進していきたいと思っています。 F N

[編集後記]

お客様相談室にも、春の農作業の準備を思わせるような問合せ（種子消毒剤や苗箱施用剤）が届くようになりました。

どうりで、3日は節分で大きな海苔巻を頬張り、4日からは立春です。まだ、毎日が寒いのですが、太陽の光は幾分強さが増して眩しく感じます。

さて、本紙に対するご意見やご要望は「I-農力H・P」からお寄せくださいお待ちしております。

[表紙の挿絵「ロウバイ・つぐみ」 技術顧問 富樫氏作]